

# 会 記

平成二十四年十月二十九日(月) 叡智庵 湯澤宅

第一回 「杓底一残水」 侘び茶人 風炉正午茶事

御正客 ○ ○ 様

○ ○ 様

○ ○ 様

○ ○ 様

○ ○ 様

○ ○ 様

○ ○ 様

様(風邪の為、御欠席)

寄付(見立)

床 愛新覚羅恒珪筆 福寿康寧(ふくじゅこうねい)

花 りんどう、他時の物二種

花入 魚籠(ホームセンターにて Maid in China' 飾り結び 宗静名・唐物)

白湯 名水「東京水」

<http://www.waternerks.metro.tokyo.jp/tokyo-dai/index.html>

席入 十一時三十分

蹲据 手水鉢(織部)・竹筏・つくばい柄杓

小堀遠州水琴窟 信楽焼 **重蔵窯**

本 席

扁額 自筆 叡智庵(はんの木、ホームセンターにて購入)

床 軸 自筆「杓底一残水」(しゃくていいちざんすい)

花 菊一輪

花入 竹一輪ざし

坐禅 四分の一炷(十分)に短縮



スツール・正坐・半跏趺坐・結跏趺坐

初炭 電気炭に付き、香のみ

釜 梨地鬼面風炉釜 師匠より拝領

香合 小箱 蔓材（バリ島土産）

香 [山田松香木店](#) 煉香 梅ヶ香（うめがが）準用

長板 手製杉材 銘「清流」（ホームセンターにて購入）

水指 常滑焼 [久松窯](#)（母が使用していた物）

十二時

初座 懐石

前半

懐石膳（華）温石添え（石が小さ過ぎ冷めた）

吸物 松茸 練り物 三つ葉

お造 本鮪・真鯛

向付 有頭海老・魚貝マリネ・うざく・胡麻豆腐

煮物 旬菜炊き合せ

焼物 からす鰯祐庵焼き・玉子焼き

飯椀 松茸炊き込みご飯

甘味 餡餅・山桃・栗・梅甘露煮・ミカン 香物

懐石厨房 旬 *shun* 菜 *na*

飲 物 ニ献を一献に略 ジュース、ジンジャーエール、

スパークリングワイン

飯替え・汁替えは略

後半

八寸 [山崎卓産銀杏結び串](#)

海 [若狭小鯛ささ漬](#)、[福井県小浜市](#)

千鳥 千鳥の盃 冷酒（真澄、[長野県諏訪市](#)） 海・山の二巡を一巡に略

湯斗（浄水 じょうすい、白湯入り薬缶）、折水桶（せつすいおけ ボール見立

て）、沢庵鉢、行鉢（ぎょうはつ）知足・餓鬼）段取り悪く失念

<http://www.noto-kante.net/>



主菓子 紅葉 ぎゅうひ餡包み栗添え 經堂亀屋製  
器 織部 草津埼玉屋骨董店購入

中五

十四時

後入 鐘・銅鑼(略)

手水

後座

濃茶

茶 濃茶「初昔(はつむかし)」上林春松(しゅんしょう)本店

<http://www.shunsho.co.jp/>

茶入 高取焼 肩衝 高取喜恵(高取焼十三代八仙妻)

<http://www.takatoniyaaki.co.jp/>

仕覆 吉野間道

古帛紗 金剛金欄(樂茶碗のみ使用せず)

茶碗 黒樂茶碗 (真樂 工房真樂 長野県岡谷市)

<http://www.keuleushinaku.com/>

茶碗 銘::火山(經堂 陶芸教室 まだん陶房 作者不明)

茶筌 奈良高山 竹茗堂 久保左文 八十本

茶杓 京都 祇園下河原 美濃幸 茶懐石のお土産

銘 「知足」

柄杓 奈良高山 竹茗(ちくめい)堂 久保左文 風炉用

建水 織部(草津埼玉屋骨董店にて)

蓋置 (寛元不明、草津埼玉屋骨董店にて)

後炭(電気炭に付き略)

薄茶



千菓子 銀座あけぼの・隅田川、きらら星  
菓子盆 扇面絵替り盆

煙草盆座布団、略

薄器 利体型中棗 中秋の名月蜻蛉蒔絵

(九月実施予定ずれ込み)

秀昭作・宮原隆岳(りゅうがく)・楓翠(ふうすい)指導

<http://www.unuki-art.com/index.php>

茶 薄茶 先陣の昔(せんじんのむかし) 山政 小山園

<http://www.yamama-kegamaen.co.jp/index.html>

茶碗 備前焼 正山作(共箱蓋書付)(草津埼玉屋骨董店にて)

茶碗 黒楽茶碗 真楽 工房真楽 長野県岡谷市

茶碗 銘・火山(経堂 陶芸教室 まだん陶房 作者不明)

茶筌 百本

十五時半 退出

亭主 湯澤秀昭

以上

主催 叡智得留俱樂部

[www.cosmos-gi.co.jp/hl\\_club.html](http://www.cosmos-gi.co.jp/hl_club.html)



茶事「杓底一残水」

<http://www.ceramics-gi.co.jp/kadel.html>

茶事「杓底一残水」の目的

- 一、茶事を通し「杓底一残水（しゃくていいちざんすい）」、より多くの方が幸せ「汲流千億人（ながれをくむせんおくにん）」になり、自己も幸せを感じることに
- 二、誰でもが一人でも気軽に流派、形式にこだわらず、和の総合伝統文化「茶道（ちやどう）」を催す
- 三、「茶道（ちやどう）」を身に付け、グローバル社会で和の文化を語り、所作が出来る

知足

多くのジャーナリストが命を掛け、世界から情報を発信している。そして、命を落としている。その情報を私たちはどのように受け止め、そして、・・・？

名水「東京水」

日本では水道の蛇口を開けば、清潔な美味しい水が簡単に飲める。しかし、世界では飲み水が無い、入手できても清潔でない、未だに水汲みをせざるをえない地域が多くある。我々は如何に幸せなことではないか？

食物

日本では近隣のお店で、多種多様な食物を簡単に入手できる。

世界では未だに、食物が足りず、今、命を落としている人が多く居る。反面、肥満で生活習慣病になる人、食べ残し、賞味期限切れで多くの食物が廃棄される現実がある。これは何なのか？

杓底一残水（しゃくていいちざんすい）

今日、食べ、楽しめた人が、「一残水」を川の流れに戻す

汲流千億人（ながれをくむせんおくにん）

戻した流れを今、世界の飢えている人々に確実に流し、生活環境を作る

<http://www.neto-kante.net/>

茶事「杓底一残水」

この流れを確実にする仕組み作りをし、底上げを確実にする活動

以上